17. 便利な機能

1 テンプレート機能

テンプレートとは同一受取人への仕向送金など、定型的な取引の依頼内容をテンプレート（雛型）として登録しておく機能です。
登録したテンプレートは次回以降の依頼画面で呼び出すことで、入力の手間を省くことができます。

メモ

➢テンプレート機能は以下の取引が対象です。
・仕向送金依頼
・輸入信用状開設依頼

➢テンプレートは、対象取引ごとに 1,000 件まで保存できます。
保存期限はありません。

➢取引選択画面の「テンプレートを登録」ボタン押下で、新規のテンプレートを登録することもできます。

➢取引選択画面の「テンプレートの照会・修正・削除」ボタン押下で表示された登録済みのテンプレートを修正・削除することもできます。

1.1 テンプレート保存（仕向送金を例とします）

1.1.1 依頼結果画面（または修正結果画面、照会結果画面）で［テンプレート保存］ボタンを押します。

1 テンプレート保存 ボタンを押す

1.1.2 登録名称を指定して［実行］ボタンを押します。

1 テンプレート情報 を入力する

登録名称に任意のテンプレート名を入力してください。

2 実行 ボタンを押す

1.1.3 テンプレート保存の完了です。

メモ

➢保存したテンプレートは、次回以降の取引で、以下の画面より呼び出すことができます。（呼び出し方 >>>> P.186 参照）

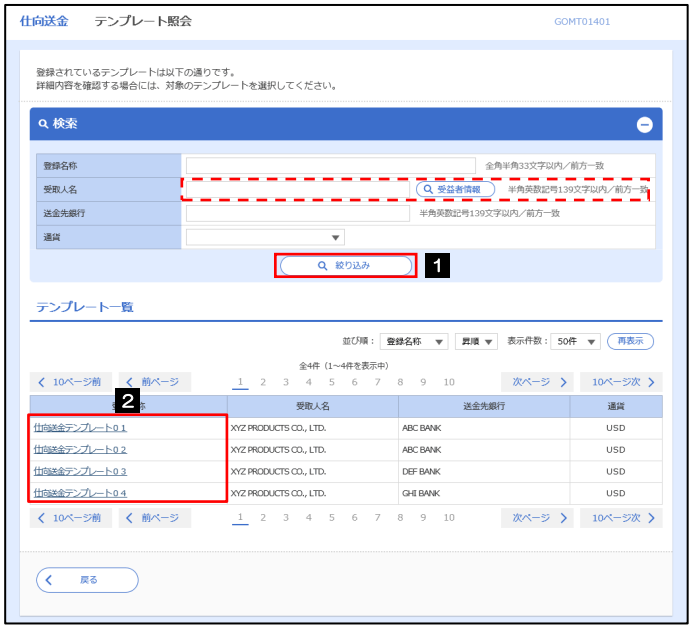
・仕向送金依頼［画面入力］ >>>> P.48 参照
・輸入信用状開設依頼［画面入力］ >>>> P.82 参照

1.2 テンプレート読込（仕向送金を例とします）

1.2.1 依頼画面で［テンプレート読込］ボタンを押します。

1 テンプレート読込 ボタンを押す

1.2.2 一覧より呼び出すテンプレートを選択します。



一覧の内容を絞り込みたい場合

1 条件を入力して 絞り込み ボタンを押す

指定した条件すべてに該当するデータに絞り込みます。

2 登録名称 リンクを押す

1.2.3 依頼画面にテンプレート内容が読み込まれました。

メモ

➢日付や金額など、依頼の都度変更となる項目はテンプレート保存対象外となりますので、入力が必要です。
それ以外の項目については、テンプレートの内容が反映されます。

➢呼び出したテンプレートの内容を利用して、入力を続行してください。

・仕向送金依頼［画面入力］ 》》》 P.48 参照
・輸入信用状開設依頼［画面入力］ 》》》 P.82 参照

2 複写作成

「取引照会」で照会した内容を、複写／再利用したうえで、新しい依頼取引を作成することができます。

2.1 複写作成（仕向送金を例とします）

2.1.1 照会結果画面で［複写作成］ボタンを押します。

1 複写作成 ボタンを押す

2.1.2 依頼画面に複写内容が読み込まれました。

メモ

- 複写作成は、以下の取引が対象です。
  - ・仕向送金依頼
  - ・輸入信用状開設依頼
- 複写作成は、依頼権限が設定されたユーザのみご利用いただけます。（照会権限のみ設定されたユーザは、「複写作成」ボタンは表示されません。）必要に応じ、操作権限を変更してください。 》》 P.168 参照
- 日付や金額など、依頼の都度変更となる項目は複写対象外となりますので、入力が必要です。
  それ以外の項目については、複写した内容が反映されます。
- 複写作成された内容を利用して、入力を続行してください。
  - ・仕向送金依頼［画面入力］ 》》 P.48 参照
  - ・輸入信用状開設依頼［画面入力］ 》》 P.82 参照

3 一時保存

お取引内容を入力中に作業を中断したい場合、入力途中の内容を保存することができます。作業を再開したい場合は、「作成中取引一覧」から一時保存した内容を呼び出すことができます。（P.190 参照）

3.1 一時保存

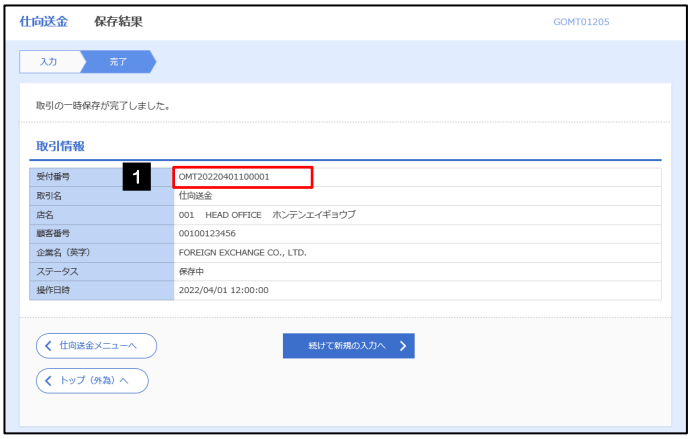
3.1.1 依頼画面（または修正画面）で［一時保存］を押します。

1 一時保存 ボタンを押す

メモ

- 一時保存は、仕向送金、輸入信用状開設、輸入信用状条件変更の依頼画面、および修正画面でのみご利用いただけます。
  ※ファイル登録による一括依頼画面ではご利用いただけません。
- 依頼画面で一時保存した取引は、「作成中取引一覧」から呼び出したのち、修正画面から再度一時保存（上書き再保存）することができます。（再保存後も同様に、「作成中取引一覧」から呼び出したのち再び再保存することができます。）
  ※ファイル登録による一括依頼取引についても、一括依頼後に引戻し／差戻し／返却となった個々の取引については「作成中取引一覧」からの呼出し→修正画面からの一時保存が可能です。）
- 1 ユーザにつき、仕向送金、輸入信用状開設、輸入信用条件変更ごとに 25 件まで取引を保存できます。
- 一時保存された取引の保存期間は、保存した日から 1 年間です。
- 一時保存できない場合、画面の上側にメッセージが表示されますので、確認、および入力内容を修正してください。

3.1.2 一時保存の完了です。



1 受付番号 を控える

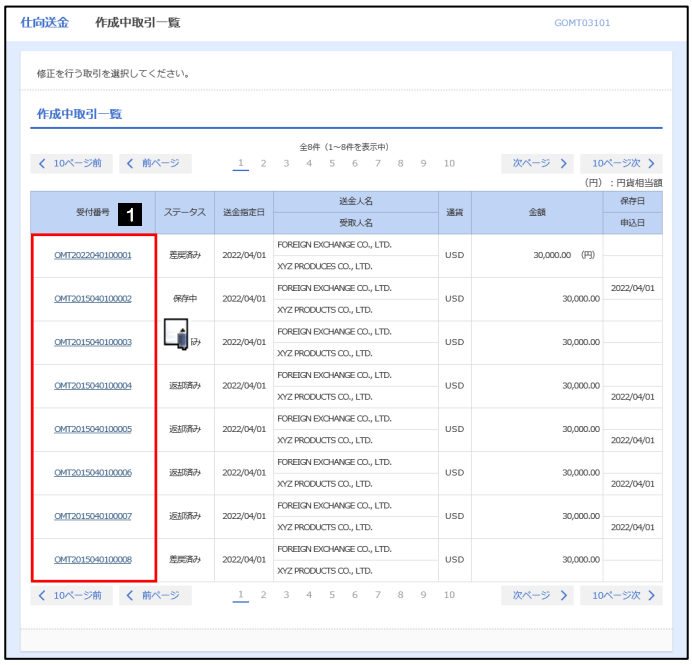
メモ

- 作業を再開する際に、「作成中取引一覧」から保存した取引を選択するのに利用します。

3.2 作業の再開

3.2.1 メニューを表示して、［仕向送金］＞［仕向送金］＞［作成中取引の修正・削除］を選択します。

3.2.2 作成中取引一覧画面を表示して、［受付番号］リンクを押します。

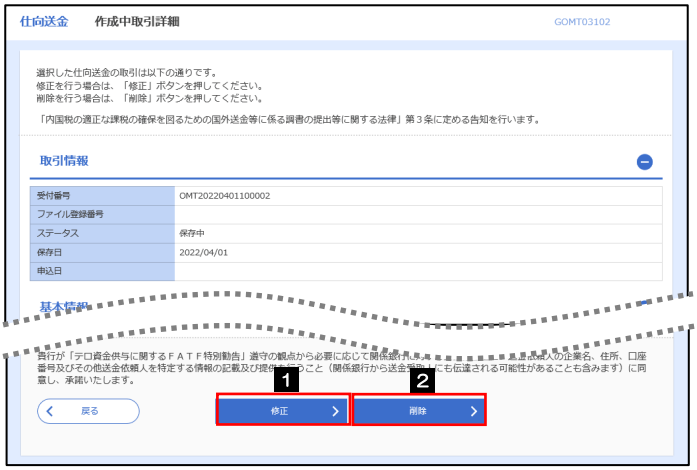


1 一時保存した取引の **受付番号** リンクを押す

メモ

- 一時保存した取引のステータスは、「保存中」です。
- 「作成中取引一覧」については、P.60 をご参照ください。

3.2.3 一時保存した取引が呼び出されます。



呼び出した取引を修正する場合

1 **修正** ボタンを押す

呼び出した取引を削除する場合

2 **削除** ボタンを押す

4 添付ファイル（PDF 形式）登録・照会

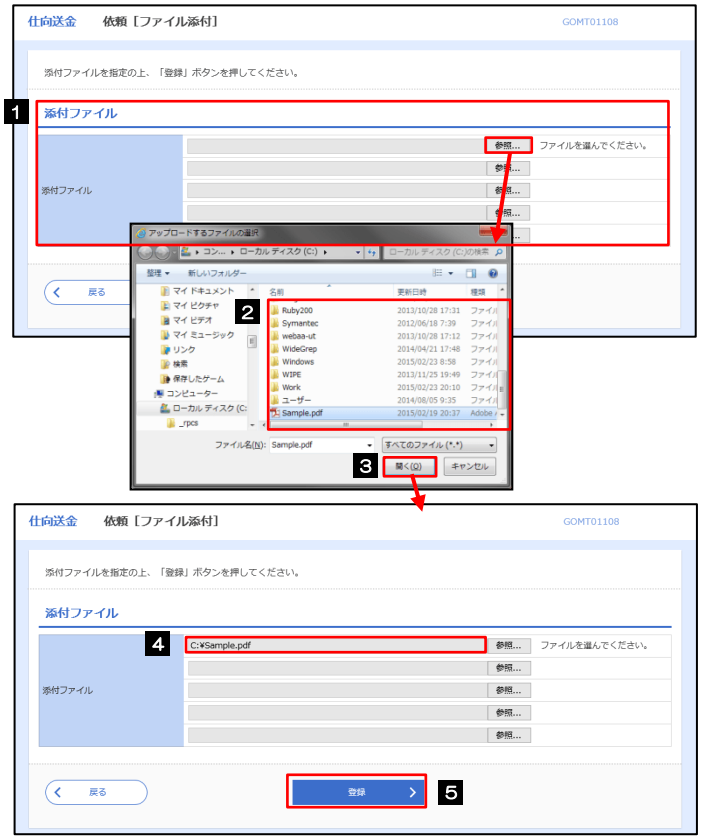
4.1 添付ファイル（PDF形式）の登録（仕向送金を例とします）

お取引の申込にあたり、必要書類をPDF 形式ファイルで添付することができます。

4.1.1 依頼画面を表示して、［ファイル選択］を押します。

1 ファイル選択 ボタンを押す

4.1.2 ファイルを指定し、［登録］を押します。



1 添付ファイル を選択する

「参照」ボタンを押すと、ファイルを選択するウィンドウを表示します。

2 アップロードするファイルを選択

3 開く(O) ボタンを押す

「アップロードするファイルの選択」ウィンドウが閉じます。

4 選択したファイル名を表示

5 登録 ボタンを押す

メモ

➢添付ファイルの登録を行う場合は、あらかじめ PDF 形式のファイルを準備してください。

➢仕向送金の場合は最大５ファイルまで添付可能です。（輸入信用状開設／条件変更／被仕向送金は１ファイルのみ）

➢ファイル名は 50 桁以内（拡張子込み）、ファイルサイズはいずれも 5MB 以内としてください。

➢既に添付ファイルが登録されている場合は、「削除」ボタンが表示されますので、必要に応じて削除してください。

➢添付ファイルを差し替えしたい場合は、添付ファイルを削除したのち、再度登録をしてください。

4.1.3 添付ファイル（PDF 形式）が登録されました。

メモ

➢取引への添付ファイルの登録が完了したら、入力を続行してください。

・仕向送金　>>>>　P.48　参照
・輸入信用状開設　>>>>　P.82　参照
・輸入信用状条件変更　>>>>　P.97　参照
・被仕向送金　>>>>　P.105　参照

➢上記以外の各種手続きのご依頼時は、添付ファイルの登録方法が異なります。

・各種手続き　>>>>　P.151　参照

4.2 添付ファイル（PDF形式）の照会

作成中のお取引やお申込いただいたお取引にお客さまご自身が登録された添付ファイル（PDF 形式）、および池田泉州銀行がお客さま宛ての通知・ご連絡事項に添付したファイル（PDF 形式）を照会することができます。
照会可能な添付ファイルは以下のとおりです。

サービス種類	ファイル作成		保存期限	備考
	お客様	池田泉州銀行		
仕向送金	○	－	「送金指定日」の１ヶ月後応当日まで	
輸入信用状開設	○	－	「発行希望日」の１ヶ月後応当日まで	
輸入信用状条件変更	○	－	「変更指定日」の１ヶ月後応当日まで	
被仕向送金	○	－	「申込日」の１ヶ月後応当日まで	池田泉州銀行へのお申込前の取引は「依頼入力日」の１ヶ月後応当日まで
各種お手続き	○	－	「申込日」の１ヶ月後応当日まで	池田泉州銀行へのお申込前の取引は「依頼入力日」の１ヶ月後応当日まで
各種通知・ご連絡	－	○	「通知日」の１ヶ月後応当日まで	

※1：保存期間を過ぎたファイルは、照会できません。（画面にはファイル名のみ表示され、リンクを押すことができません。）

5 口座一覧

お客さまに事前にお届出いただいた口座が一覧表示されます。
口座一覧で選択した口座の情報は、画面の入力項目に読み込まれます。

5.1 口座一覧

5.1.1 ［口座情報］を押します。

1 口座情報 ボタンを押す

「口座一覧」ポップアップ画面が表示されます。

2 口座情報を選択する

ラジオボタンを選択すると「口座一覧」ポップアップ画面は自動的に閉じます。

3 選択した口座情報を入力画面に反映

メモ

➢読み込んだ口座情報を利用して、入力を続行してください。
・仕向送金依頼［画面入力］ 》》 P.48 参照
・被仕向送金入金依頼［画面入力］ 》》 P.105 参照

6 予約番号選択

ご成約済の為替予約が一覧表示されますので、この中から仕向送金（依頼）などで利用する予約番号を選択することができます。

6.1 予約番号選択（仕向送金を例とします）

6.1.1 ［予約番号］を押します。

1 予約番号 ボタンを押す

「予約番号選択」ポップアップ画面が表示されます。

2 予約番号を選択する

ラジオボタンを選択すると「予約番号選択」ポップアップ画面は自動的に閉じます。

3 選択した予約番号を入力画面に反映

注意

➢予約残高は、（カッコ）内に表示された時点での残高です。（リアルタイムでの残高ではありません。）

メモ

➢一覧の表示対象は対円予約のみです。

➢入力画面で取引指定日（送金指定日など）や通貨を指定する前に「予約番号を表示」ボタンを押した場合は、ご利用可能なすべての予約番号が表示されます。（受渡日や通貨での絞り込みは行われません。）

➢仕向送金では（お客さまから見た）「買予約」、被仕向送金では「売予約」が表示されますが、外貨預金振替では入金通貨・出金通貨に応じていずれか一方が表示されます。（通貨を指定する前にボタンを押した場合には、両者とも表示されます。）

➢予約残高は、お取引金額に対し残高が不足する予約番号についても一覧の表示対象となります。

➢一覧に表示された予約番号は、お取引内容を満たさない明細（残高不足など）を含め、すべて選択可能です。（ただし、該当の予約番号を選択した場合は、入力画面で「内容確認」ボタンを押した時点でエラーになります。）
これらの明細を一覧の表示から除外したい、などの場合は、検索条件を指定することで絞り込みや再検索を行ってください。

➢一覧に存在しない予約番号を入力画面から指定（手入力）した場合には、注意メッセージが表示されますので、あらためて予約番号をご確認ください。（そのまま操作を続行することも可能です。）

➢予約番号を選択後、入力を続行してください。
・仕向送金依頼［画面入力］ 》》》 P.48 参照
・外貨預金振替依頼［画面入力］ 》》》 P.70 参照
・被仕向送金入金依頼［画面入力］ 》》》 P.105 参照